

2023年活動スローガン 「世界の子ども達に 笑顔いっぱい 明るい未来を」

報 告 2023年1月～3月支援分

イベント情報

〈バングラデシュ〉

●トイレ寄付

・会員有志の方よりカバシア郡の学校にトイレを1基

●その他の寄付

・会員有志の方よりエンゼルホームの事務所にパソコンとプリンター各1台

・朝田花様よりマイメンシン県の教育施設に図書200冊

〈国内活動〉

●チャリティバザーにご協力ありがとうございました

4月5日にボランティアセンターで春のチャリティバザーを開催いたしました。バザー開催の為に手伝いいただいた方、そしてバザーの品物を提供してくださった多くの方のおかげで無事バザーを開催することができました。ご協力ありがとうございました。

●トルコ・シリア地震緊急支援募金

2月6日に発生したトルコ・シリア大地震緊急支援募金として集まりました113,876円をトルコ大使館へ寄付しました。

●あおぞら食堂「エンゼル」(子ども食堂)への寄付

・会員有志の方より食材費として10,000円をいただきました。

・伊丹市社協善意銀行より食材費として18,000円をいただきました。

・兵庫県地域福祉課より支援事業運営費として10,000円をいただきました。

6
4
(日)

楽しいボランティアひろば

場所：本協会ボランティアセンター(伊丹市)

時間：10:00～14:30

内容：手芸品・ノクシカタ刺しゅう製品販売・
模擬店・ワークショップ・活動紹介など

*日時・内容等都合により変更となる場合がございますので、
ホームページなどでご確認ください。

バングラデシュ・スタディツアー参加者募集

①7月22日(土)～30日(日) ②12月2日(土)～10日(日)

*詳細は事務局までお訊ねください

〈お知らせ〉

2023年1月より前事務局長の退職に伴い、新たに東村良平が国際エンゼル協会事務局長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

「えっ?あの人も?」という言葉、今年に入って何度言ったでしょうか。周りの方が続々とケガや病気になったという報告が続きました。こんな時は身の回りをキレイにするに限りです。気持ちの問題でしょうけど、それでも身の回りをキレイにすると気持ちも整理され、良い報告が増えて来るはず。そして片付けで出たまだ使える品物はしっかりバザーの品物として提供させていただきます。

2023年 行事予定

4月現在

4月	22日(土)	チャリティバザー	スーパーニシヤマ有野店	神戸市
	25日(火)	チャリティバザー	Aコープ神野	加古川市
	29日(祝・土)	チャリティバザー	JR六甲道南公園	神戸市
5月	5日(祝・金)	チャリティバザー	西宮神社	西宮市
	5日(祝・金)	ノクシカタ販売	九度山真田まつり	和歌山県
	7日(日)	チャリティイベント	育徳コミュニティセンター	大阪市
	7日(日)	チャリティバザー	じけまち商店街	加古川市
	20日(土)	チャリティバザー	名谷駅前広場	神戸市
6月	4日(日)	楽しいボランティアひろば	本協会ボランティアセンター	伊丹市

※スペースの都合上、7月以降の行事はホームページなどで確認をお願いいたします。

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp



ホームページ

ANGEL NEW

通巻203号
2023.04

1984年当時のチャリティバザー

届けたい! 皆さんの愛をバングラデシュの子ども達に!

春の訪れが待ち遠しい2月、春のチャリティバザーの準備が始まります。今から40年前に始まったチャリティ活動。何も経験のない主婦達が集まって試行錯誤しながらのスタートでした。

道端に立てたパラソルの下でいただいたシタケを売ったり、ブルーシートの上に古着を山のように積んで売ったり、また農家の方から「畑に植えた大根があるからあげるよ」と言われ、畑仕事をしたこともない主婦達が、大根を抜いて車にぎゅうぎゅうに詰めて帰ったこともあり。テントもなく暑い日は汗だくになって販売をしたり、木枯らしの吹く寒い冬には風で商品が飛ばされ追いかけてこたり。懐かしい思い出がいっぱいあります。

それが今では皆で周辺地域のお宅にチラシを持って品物の提供をお願いしに回ったり、会員さんの畑をお借りしてジャガイモやサツマイモを育てて売ったり、バザーの3日前から10張り以上のテントを立て、当日は300人を超えるボランティアの方々が所狭しと並んだ品物を販売するようになりました。それでも突然雨が降った時は品物が濡れないようにと、自分達は濡れになりながらテントの下に品物を移動させたり、重たい荷物や机、テントなど2人がかりで運んだり。皆さんの一生懸命な姿は今も昔も変わっていません。

これもひとえにバングラデシュの子ども達を思う熱い気持ちが皆さんの元気の源になっているからに違いありません。こうしてボランティアセンターにはにぎやかな笑い声が絶えません。そしてその笑顔の向こうには、今も変わらずバングラデシュの子ども達の笑顔があります。

代表理事 東村 真理子



バングラデシュ報告

子どもを取り巻くバングラデシュの現状

バングラデシュの農村部では今でも女性は家事や農業の手伝いが主で、家計の厳しい家庭では家の中で働ける内職などをしています。男性は出稼ぎに出ることが多いため、そうした家庭では夫婦が別々に暮らしています。しかし出稼ぎに出た夫から生活費等の仕送りが途絶えたり、出先で女性関係の問題を起こし、その結果離婚する夫婦が増えています。また出稼ぎ先で劣悪な環境や危険な仕事を行ったため体を壊してしまい働けなくなる方もいます。そうした家庭ではたちまち家計は苦しくなり、子ども達は家計を助けるために学校に通わず働きに出るようになります。

私達は38年前のバングラデシュ支援開始当初から、現地の発展と、変わらず貧しさに苦しんでいる方々を見てきました。そしてできる限りの手を差し伸べてきました。エンゼルホームでは200人に及ぶ子ども達を支援し、彼らが幸せになる手助けをしてきました。社会に出て、素晴らしいお相手と巡り合った報告に、私達も我が子の幸せと思い一緒になって喜んでいきます。これからも子ども達の笑顔いっぱいの明るい未来を願って、日々皆で力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。どうぞ皆様のご支援ご協力よろしくお願いします。



農村部の暮らし



都会の様子



エンゼルホームに新しく仲間入りしました



ヌルンナハル (Nurun Nahar)

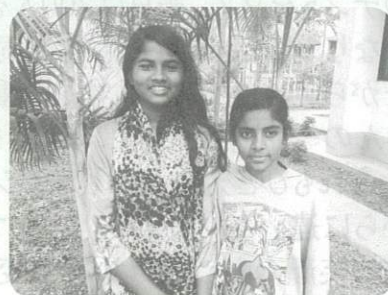
2015年6月30日生まれ(7歳)

出身地：ナラヤングンジ県ファチュラ村

好きなもの：ダンス・サイクリング

将来の夢：お医者さん

彼女は3年前からエンゼルホームで暮らしているサムスンナハルちゃんの妹です。お父さんが亡くなり、3年前にお姉ちゃんがエンゼルホームにきました。昨年末にお母さんも亡くなり、居場所がなくなってしまったヌルンナハルちゃんは、この度お姉ちゃんのいるエンゼルホームで生活する事になりました。これからエンゼルホームで明るく元気いっぱい育ってほしいです。バングラデシュに行かれた時には是非声をかけてあげてください。



お姉ちゃんと一緒に

卒業生からの便り



結婚しました

2000年よりエンゼルホームで育ったアイシャ・シディッカさんがこの度2023年1月に結婚しました。

小さい頃から明るく活発な女の子で、スポーツや勉強に一生懸命取り組んでいて、特に歌やダンスが大好きで歓迎会などで披露していました。お茶目なところもあり、スタディツアーで訪れたボランティアの皆さんにも可愛がられていました。

眼科の専門学校を卒業した後はダッカの病院で検眼医として働いています。2018年には3か月間研修のため来日しました。日本での経験は、彼女に大きな影響を与えたようです。そして今年職場の上司の紹介で、日本の大学に留学している男性と結婚することになりました。彼女の幸せをお祈りしています。



感謝の手紙

大きな愛に包まれて



アイシャ・シディッカ

私は8歳の時にエンゼルホームに入所しましたが、今でもその時の事をはっきりと覚えています。エンゼルホームは温かな雰囲気の中に包まれていて、すぐにこの場所が大好きになりました。しばらくして、満面の笑みを浮かべた優しい表情の川村百合子前代表に初めてお会いしました。すぐに私を思っきり抱きしめてくださり、とても嬉しかったです。「自分のお母さんのような存在にお会いすることできた」と思いました。エンゼルホームに入った頃はまわりの目が気になることもありましたが、日本のボランティアの皆さんそしてエンゼルホームのスタッフが大切にそして愛情いっぱい育てて下さり、悲しい思いをしたことはありませんでした。衣食住だけでなく、たくさんの愛を注いで豊かな心を育ててくれました。

国際エンゼル協会は社会に多くの貢献をされています。私達には教育を与え、夢を応援して下さり、また人として立派な人間になるようにと教えて下さいました。私のようにたくさんの子ども達に素晴らしい影響を与えて下さっています。今の私があるのは、国際エンゼル協会のおかげです。エンゼルホームに入り自分の道を見つけることができました。私は川村前代表やボランティアの皆さんが見せて下さった素晴らしい生き方に恥じないように、これからも胸を張り精一杯頑張りたいと思ひます。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



川村前代表と一緒に

バングラデシュへ様々な寄付をいただいています

バングラデシュではいろいろな物が不足しており、トイレや井戸などの寄付の他、日本の皆様から様々なものをご寄付いただいています。最近では停電時のバッテリーや電源自動切替ユニット、図書や識字教室の教科書、職業訓練所の研修材料費、バスケットボールコートなどの補修費などが寄贈されました。ご支援いただきありがとうございました。

エンゼルホーム

停電時用バッテリー



バッテリー関連機器



一輪車



プロジェクター



パソコン



制服



体操服



ボーイ&ガールスカウト服



職業訓練所

研修材料



識字教室

教科書



クリニック

エアコン



YURIKO エンゼルスクール

PC 関連機器



図書



図書



バスケットボールコート



工事前の様子

(コンクリートがひび割れて足をケガする恐れがありました。またバスケットゴールの板が劣化して無くなっていました)



停電の暗闇に光を！

電力不足の解消にバッテリーなどを寄贈していただき助かっています。

日本の4割ほどの国土に、約1億6千万人が暮らすバングラデシュ。世界で最も人口密度の高い国の一つです。豊富な労働力によって近年急速な経済成長を遂げつつある反面、全人口の約半数以上を占める農村部の人々の生活は貧しく、教育やインフラなどあらゆる面で都市部と農村部の格差が広がっています。バングラデシュの電化率はまだまだ低いため、農村部では電気が通っていない地域も多く、夜になると真っ暗な闇に包まれてしまいます。

政府は電化率の向上を目指し、発電燃料の約7割を占める天然ガスの開発や液化天然ガス・石炭の輸入などを通じて発電容量の増強を目指していますが、急速な成長に追いついていないのが現状です。首都ダッカから北へ約30kmのところにあるエンゼルホームも電力不足による停電が毎日頻繁に起きており、停電時に自動でバッテリー電力に切り替わる装置などが必要です。エンゼルホームやYURIKO エンゼルスクールの停電時電源装置も古くなっており、様々なトラブルが起きていました。昨年から今年にかけて日本の皆様から新しい物を寄贈いただき、突然の停電時にも困ることなくとても助かっています。

●今後共支援ご協力よろしくお願いいたします。

令和4年度活動報告

①社会教育活動

●新型コロナウイルス対策を講じ、各地でチャリティバザーを行いました。また、国際交流活動としてバングラデシュツアーや楽しいボランティアひろばを開催しました。国際エンゼル協会創立40周年を記念した式典では、東村眞理子代表理事や現地責任者のアジズルバリ氏、はぐるまの家の坂岡嘉代子様やエンゼルホーム卒業生エムダット氏の講演があり、長年支援していただいている会員だけでなく初めての方も奉仕活動の意義や途上国の現状について学ぶことができました。



バザーの様子

ボランティアひろば

40周年記念式典

バングラデシュツアー

②災害救援活動

●ロシアによるウクライナ軍事侵攻で苦しんでいる人々を少しでも助けたいとの思いから、ウクライナ募金を行いました。またウクライナの平和を祈って折り紙でひまわりを作りました。出来上がったボードは写真に撮ってウクライナ大使館へメールにて届けました。また集まった募金は同じくウクライナ大使館へ寄付しました。



ウクライナ募金

③国際協力活動

- バングラデシュの手工芸品「ノクシカタ刺しゅう製品」の展示販売を行いました。現地の女性による手刺しゅう製品を紹介し異文化を広めると共に現地伝統工芸品の保全、内職する女性の仕事を守るための支援につなげました。
- バングラデシュプロジェクトにおける児童養護施設では34名の子ども達を預かり、共に生活をしながら学校に通えるよう支援しました。また中学卒業後に施設外で生活する高校生以上の子ども達26名に生活支援を行いました。
- バングラデシュプロジェクトにおける職業訓練所では、80期生35名、81期生30名、82期生30名、83期生44名、合計139名の女性が卒業しました。
- バングラデシュにて学校を運営、174名の学生にグローバルな視野で物事を考えられるよう様々な文化、運動プログラムを交えて教育を行いました。
- バングラデシュの学生2,056名へ奨学金を支給しました。また(財)北ルソン比日基金を通じて、フィリピンの学生達へ奨学金200万円支援しました。その他、バングラデシュの農村女性360名に識字教室を行いました。
- 当協会会員及び有志の方より計10基分のトイレ建設資金を寄付頂き、バングラデシュの農村部の学校及び教育機関へトイレ10基寄付しました。
- その他、ノクシカタ刺しゅう製品の販売やクリニック運営等、バングラデシュの経済的に貧しい方の為の支援活動を行いました。



エンゼルホーム



YURIKO エンゼルスクール



識字教室



農村の奨学生

④子どもの健全育成を図る活動

●高校での課外授業の講師として招かれ、異文化交流や社会情勢など伝えました。その他、月1回子ども食堂を開催し、地域の子ども達の居場所作りや貧困対策、また母親達が繋がる場所作りに貢献しました。その中で丹波の養殖場から仕入れたアマゴのつかみ取り体験や、尼崎のNPOから寄付していただいたタコ解体体験など行い、地産地消、魚食文化、生き物の命をいただくことを学ぶ機会を提供しました。



高校出張講座



タコの解体体験



流しそうめん



食事の様子

令和5年度 国際エンゼル協会 会員総会を開催

令和5年度定時会員総会が3月10日(金)に開催されました。令和4年度事業報告及び決算報告、令和5年度事業計画及び予算(案)、その他の議案が審議の結果、全会一致で承認されました。これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

令和4年度活動計算書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費	3,638,500		
特別会員会費	11,907,500	15,546,000	
2 国内活動寄付金			
一般寄付金	0		
指定寄付金	974,580	974,580	
3 国際活動寄付金			
一般寄付金収入	6,226,096		
教育援助寄付金収入	24,645,900		
募金収入	5,882,971	36,754,967	
4 受取助成金			
一般助成金	1,000,000	1,000,000	
5 事業収入			
5-1 社会教育活動事業収入	9,811,703		
5-2 青少年育成事業収入	478,900		
5-3 災害救援活動収入	50,963		
5-4 国際協力活動事業収入	1,455,010	11,796,576	
6 その他収入			
受取利息	2,778		
雑収入	81,157		
書籍販売収入	0	83,935	
経常収益計			66,156,058
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	8,835,000		
福利厚生費	1,385,968		
人件費計	10,220,968		
(2) その他経費			
研修費	262,238		
支援金	350,963		
製作費	0		
旅費交通費	1,392,829		
消耗品費	1,298,264		
印刷費	244,200		
賃借料	447,135		
諸謝金	528,000		
通信発送費	24,297		
租税公課	0		
諸雑費	222,455		
広告宣伝費	29,700		
女性自立支援事業費	1,762,707		
教育援助事業費	17,159,522		
保健医療事業費	0		
孤児救済事業費	9,977,723		
現地管理費	14,270,495		
開発協力費	3,674,625		
エンゼルスクール事業費	4,890,646		
棚卸減少額	1,354,578		
その他経費計	57,890,377		
事業費計		68,111,345	
2 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	1,735,900		
福利厚生費	238,904		
人件費計	1,974,804		
(2) その他経費			
旅費交通費	166,310		
消耗品費	140,473		
印刷費	604,600		
賃借料	536,736		
諸謝金	0		
通信発送費	520,381		
会議費	14,685		
水道光熱費	729,934		
修繕費	220,671		
燃料費	154,090		
保険料	133,242		
租税公課	148,600		
渉外費	76,072		
保守管理費	0		
諸手当	34,312		
諸雑費	403,864		
減価償却費	2,394,812		
その他経費計	6,278,782		
管理費計		8,253,586	
経常費用計			76,364,931
当期経常増減額			△ 10,208,873
III 経常外収益			
1 財産運用益収入			
発展途上国教育基金積立金利息収入	3,049		
国際協力活動事業積立金利息収入	43		
災害救援活動事業積立金利息収入	77		
事業運営基金積立金利息収入	17	3,186	
2 固定資産売却益	215,628	215,628	
3 過年度損益修正益	0	0	
経常外収益合計			218,814
IV 経常外費用			
2 固定資産除却損	0	0	
3 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用合計			0
当期正味財産増減額			△ 9,990,059
前期繰越正味財産額			100,043,227
次期繰越正味財産額			90,053,168

令和5年度活動予算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員会費	3,800,000		
特別会員会費	10,000,000	13,800,000	
2 国内活動寄付金			
一般寄付金	100,000		
指定寄付金	100,000	200,000	
3 国際活動寄付金			
一般寄付金収入	7,500,000		
教育援助寄付金収入	21,000,000		
募金収入	17,170,000	45,670,000	
4 受取助成金			
一般助成金	1,000,000	1,000,000	
5 事業収入			
5-1 社会教育活動事業収入	11,310,000		
5-2 青少年育成事業収入	220,000		
5-3 災害救援活動収入	110,000		
5-4 国際協力活動事業収入	1,500,000	13,140,000	
6 その他収入			
受取利息	10,000		
雑収入	60,000		
書籍販売収入	10,000	80,000	
経常収益計			73,890,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	9,000,000		
福利厚生費	1,500,000		
人件費計	10,500,000		
(2) その他経費			
研修費	20,000		
支援金	80,000		
製作費	350,000		
旅費交通費	4,180,000		
消耗品費	850,000		
印刷費	60,000		
賃借料	500,000		
諸謝金	160,000		
通信発送費	140,000		
租税公課	0		
諸雑費	460,000		
広告宣伝費	50,000		
女性自立支援事業費	3,000,000		
教育援助事業費	17,100,000		
保健医療事業費	100,000		
孤児救済事業費	8,000,000		
現地管理費	10,500,000		
開発協力費	2,500,000		
エンゼルスクール事業費	5,000,000		
棚卸減少額	500,000		
その他経費計	53,550,000		
事業費計		64,050,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	1,700,000		
福利厚生費	250,000		
人件費計	1,950,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	800,000		
消耗品費	220,000		
印刷費	700,000		
賃借料	600,000		
諸謝金	10,000		
通信発送費	700,000		
会議費	40,000		
水道光熱費	700,000		
修繕費	400,000		
燃料費	200,000		
保険料	200,000		
租税公課	150,000		
渉外費	100,000		
保守管理費	10,000		
諸手当	200,000		
諸雑費	500,000		
減価償却費	2,400,000		
その他経費計	7,930,000		
管理費計		9,880,000	
経常費用計			73,930,000
当期経常増減額			△ 40,000
III 経常外収益			
1 財産運用益収入			
発展途上国教育基金積立金利息収入	10,000		
国際協力活動事業積立金利息収入	10,000		
災害救援活動事業積立金利息収入	10,000		
事業運営基金積立金利息収入	10,000	40,000	
2 固定資産売却益	0	0	
3 過年度損益修正益	0	0	
経常外収益合計			40,000
IV 経常外費用			
2 固定資産除却損	0	0	
3 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用合計			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			90,053,168
次期繰越正味財産額			90,053,168